

① 防災対策と災害時の避難所等での対応策について

阪神淡路大震災をはじめとして、東日本大震災、熊本地震、福岡豪雨災害、鹿児島島の火山噴火、一昨年起きた能登半島地震など、日本列島の災害や地震の被害に身につまされる思いであります。また、近い将来、南海トラフ地震が起きると予想されている中、各地で地震が度々起こり、人々の不安をあおっています。阪神淡路大震災から31年、東日本大震災から15年経過した現在、各地域で徐々に防災対策の強化や改善が行われています。しかし、災害後の避難所等での対応策等、多くの課題が解決できていないのが現状です。今後、南海トラフ地震による影響が九州にもあると思われまますので、災害時の長与町地域防災計画に基づいた防災対策と災害時の避難所等での対応策について伺います。

- (1) 災害時の取組みと防災訓練の状況について伺う。
- (2) 災害時の住民向けの初動マニュアルの作成を作る考えはないのか伺う。
- (3) 西日本豪雨で被害を受けた呉市の吉浦小学校では、防災意識を高めようと1泊2日の宿泊訓練を行い、備えの大切さを学んだそうです。本町でも同様の宿泊訓練を実施する考えはないのか伺う。
- (4) 避難所内や屋外避難所での問題点と課題について伺う。
- (5) 防災トリアージの考え方と福祉避難所について伺う。
- (6) デジタル防災行政無線が聞こえづらい方と聞こえない方への防災情報の配信のあり方について伺う。

② 誰でも遊べるインクルーシブ公園・遊具の設置の進捗状況について

令和5年6月定例会において、このインクルーシブ公園・遊具の設置について質問をしましたが、先日、時津町の時津ウォーターフロント公園に障がいのある子どもも共に遊べるインクルーシブ遊具が完成したということで視察に行ってきました。本町でも老朽化した公園の遊具が新しく更新されていますが、障がいのある子どもも一緒に乗れる遊具などは設置されていない現状だと思います。そこで、インクルーシブ公園・遊具の設置の進捗状況についてお聞きします。